

続日本紀 一 岩波 (原漢文)

道照和尚没 三月己未、道照和尚物化りぬ。天皇甚だ悼み惜みて、使を遣して吊贈し...

文武天皇 四年二月一三日

還りて、禪院に還り住む。坐禪故の如し。或は三日に一たび起き、或は七日に一たび起き...

ツツク最後の旅 中村元 岩波文庫

「尊い方よ。しかし修行完成者のご遺体に対して、われわれはどのように処理したらよいのでしょうか？」

「アーナンドよ。世界を支配する帝王(転輪聖王)の遺体を処理するようなしかたで、修行完成者の遺体も処理すべきである。」

「尊い方よ。では、世界を支配する帝王の遺体は、それをどのように処理したらよいのでしょうか？」

「アーナンドよ。世界を支配する帝王の遺体を、新しい布で包む。新しい布で包んでから、次に打ってほごされた綿で包む。打ってほごされた綿で包んでから、次に新しい布で包む...

〔二六、遺骨の分配と崇拜〕

さて、マガダ国王であるアジャータサットゥ、ヴィデーハ国王の女の子は、「尊師はクシナラーラでお亡くなりになったそうだ」ということを聞いた。

そこでヴェーサーリーに住むリッチャヴィ族は、「尊師はクシナラーラでお亡くなりになったそうだ」ということを聞いた。

者を遣わして、「尊師も王族(の出身)であり、われわれも王族である。われわれもまた尊師の遺骨の一部分の分配を受ける資格がある。われわれもまた尊師の遺骨のストゥーパをつくって、祭りを行ないましょう」と言った。

木曾路を開く ○壬寅、始めて美濃国に岐蘇の山道を開く。○乙巳、太上天皇、不豫したまふ。天下に大赦す。...

続日本紀 卷第二

文武天皇 大宝二年十一月一十二月

持統の葬送 大人を衛士督とす。○癸酉、從四位上當麻真人智徳、諸王・諸臣を率ゐて、太上天皇に諫奉る。...

慶雲元年春正月丁亥の朔、天皇、大極殿に御しまして朝を受けたまふ。五位已上の坐に始めて榻を設く。○癸巳、詔して大納言從二位石上朝臣麻呂を右大臣としたまふ。...

文武天皇 大宝三年十一月一慶雲元年正月

「それでは、バラモンよ。あなたは尊師の遺骨を八つの部分に分けて、平等にうまく分配なさい。」

「承知しました」と、ドーナ・バラモンはその集いの人々に答えて、尊師の遺骨を八つの部分に分けて、平等にうまく分配して、かの集いの人々にこう言った。

「みなさん。この瓶をわたしにください。わたしもまた、(尊師の遺骨を納めた瓶をまつためのストゥーパをつくり、祭りを行ないましょう」と。

「それでは、ドーナ・バラモンに瓶を与えた。それから、ドーナ・バラモンは、(尊師の遺骨を八つの部分に分けて、平等にうまく分配して、かの集いの人々にこう言った。)

住むマツラ族に使者を遣わして、「尊師も王族(の出身)であり、わたしも王族である。わたしもまた尊師の遺骨の一部分を受けてしるべきである。わたしも尊師の遺骨のストゥーパをつくって、祭りを行ないましょう」と言った。

「尊師の遺骨は一部分も残っていない。尊師の遺骨はすでに分配された。だから、灰を持って行きなさい。」

略

ドーナ・バラモンも、瓶のストゥーパをつくり、祭りを行なった。ピッパリンに住むモーリヤ族も、ピッパリンに、(尊師の)灰のためにストゥーパをつくり、また祭りを行なった。

こういふわけで、八つの遺骨のストゥーパと、第九に瓶のストゥーパと、第十に灰の塔とがある。